



検索上位表示・SEO 効果を維持したまま
サイトを移転する方法
(再配布権付き)

【著作権について】

本レポートは著作権法で保護されている著作物です。
本レポートの著作権は切り開く青空人にあります。

このレポートには再配布権があります。
特典や私的利用していただいてもかまいません。

ただし、著作権者の許可なく、このレポートの全部または一部を
いかなる手段においても、複製・転載・転売等は禁止です。

違反行為を行った場合は、関係法規に基づき、損害賠償請求を行
う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。
著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更
等を行う権利を有します。

【免責事項について】

当レポートの情報に基づき、行動したり、活動したりするなどを
することにより、いかなる損失または損害を受けても、責任を負
いかねますので、あらかじめご了解ください。

はじめに

スマホ・モバイル対策や HTTPS(SSL)の導入や不慮のドメイン利用制限やトラブルなどで、サイトを移転しなければならないケースが出てくると思います。

ただ、サイトを移転させる場合、何も考えないでやると、当然新しい URL には被リンクが付いていないので、検索結果で上位表示させることはできません。

でも、検索上位表示させないと、アクセスや集客力が落ちて大きなダメージになるので、何とか今までの検索順位を維持していきたいと思いますよね。

私もアフィリエイト情報商材のレビューサイトにおいて、旧ドメインで利用制限がかけられることになり、2014年8月30日に <http://www.hanoverscotland.org.uk/> (旧 URL)から <https://www.spcourt.com/> (新 URL)に変更しました。

情報商材レビューサイト URL 変更に関するお知らせ
<https://www.vinci.jp/gyomuconnect/20140830zyohousyozaisiteiten/>

そこで、この際に私が行なったことに基づいて、検索上位表示・SEO 効果を維持したままサイトを移転する方法について解説していきます。

サイト移転手順

①～⑥の順序で進めていきます。

①あらかじめドメインを取得して、
レンタルサーバーを借りておきます。

なお、オールドドメインを取得されたい方は、
以下のファイルで説明していますので、ご覧になってください。

⇒ <https://fidown.vinci.jp/okiba/olddomaingetway.zip>

②新しい URL として使用するレンタルサーバーに
HTML ファイルなどをアップロードします。

また、Word Press 等を使用される方は、
データファイル等をアップロードします。

③旧 URL の方には 301 リダイレクトを設定し、
旧 URL に来たアクセスを
全て新 URL に転送されるようにします。

【301 リダイレクトについて】

WEB 閲覧のための「HTTP プロトコル」規格で
正式に定められた方式で、
ページが別の場所に完全に移転したことを
通知する役割を持ちます。

301 リダイレクトの通知を受けた検索エンジンは、
ページが別の場所に完全に移転したと判断をして、
旧 URL のインデックスが削除され、
新 URL が検索エンジンにインデックスされるようになります。

また、旧 URL に来たアクセスは、
ページが別の場所に完全に移転したということで、
全て新 URL に転送されるシステムとなっております。

サイト移転から間もない頃は、
サイト移転の告知が広からず、
URL が変更したことに気付かないユーザーが多く、
また検索エンジンも旧 URL の方が表示されてしまうため、
旧 URL からアクセスする人が多いです。

そこで、301 リダイレクトを設定することで、
旧 URL に来たアクセスを全て新 URL に転送されるようにし、
ユーザーに不便をかけないようにするとともに、
検索エンジンにもサイトが移転したことを認識してもらい、
新 URL が検索エンジンにインデックスされるようになります。

301 リダイレクトの設定方法

301 リダイレクトの設定方法は、サーバー等環境によって多少異なってきますが、ポピュラーになっている「.htaccess (ドット エイチ ティー アクセス)」というファイルを使っていく方法にします。

そして、301 リダイレクトの設定は、サイト移転のほか、既存のサイトを常時 SSL 化を行なった際に、従来の http でアクセスしてきたものを https の方の URL にアクセスが転送されるようにするためにおいても、301 リダイレクトを設定していきます。

つきましては、一般的なサイト移転の場合と、http から https(SSL 化したページ)へ転送する場合について、それぞれ 301 リダイレクトの設定方法を説明していきます。

一般的なサイト移転の 301 リダイレクトの設定方法

手順 1 まず、「.htaccess」を作成するためにメモ帳などのテキストエディタを起動させます。



```
.htaccess - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
RewriteEngine on
RewriteCond %{HTTP_HOST} ^(www¥.hanoverscotland¥.org¥.uk)(:80)? [NC]
RewriteRule ^(.*) http://www.spcourt.com/$1 [R=301,L]
```

手順 2 上のように「.htaccess」を記述していきますが、
ピンク色の線の部分は移転先の URL を書きます。

一方、緑色の線の部分には、旧サイトの方の URL を書きます。
そして、コンピューター環境によって異なりますが、
「¥.」(バックスラッシュ+ドット)、
もしくは「¥.」(円マーク+ドット)で区切るようにします。

手順 3 作成したファイルを旧 URL の方のサーバーにおける
ルートディレクトリ(トップページのところ)にアップロードし、
.htaccess.txt の「.txt」を削除します。

このようにすれば、301 リダイレクトの設定は完了し、
転送されるようになります。

なおサーバー等によっては、このやり方ではうまくいかない場合
もあるので、このときは検索して調べるようにしてください。

http から https へ転送する場合の 301 リダイレクト設定方法

手順1 まず、「.htaccess」を作成するためにメモ帳などのテキストエディタを起動させます。



```
.htaccess - TeraPad
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ツール(T) ヘルプ(H)
1 RewriteEngine On↓
2 RewriteCond %{HTTPS} off↓
3 RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]↓
4
```

手順2 上の緑で囲った部分の文字列をそのまま同じように「.htaccess」を記述していきます。(上に習って、そのままマネして記述してください。)

手順3 作成したファイルをルートディレクトリ(トップページのところ)にアップロードし、.htaccess.txt の「.txt」を削除します。

これで 301 リダイレクトの設定は完了します。

なお、Word Press を運営している場合は、Word Press 用の「.htaccess」をダウンロードしてそこに記述するかたちになります。

そこで、Word Press を運営している場合については、次のページで簡単に説明していますので参照してください。

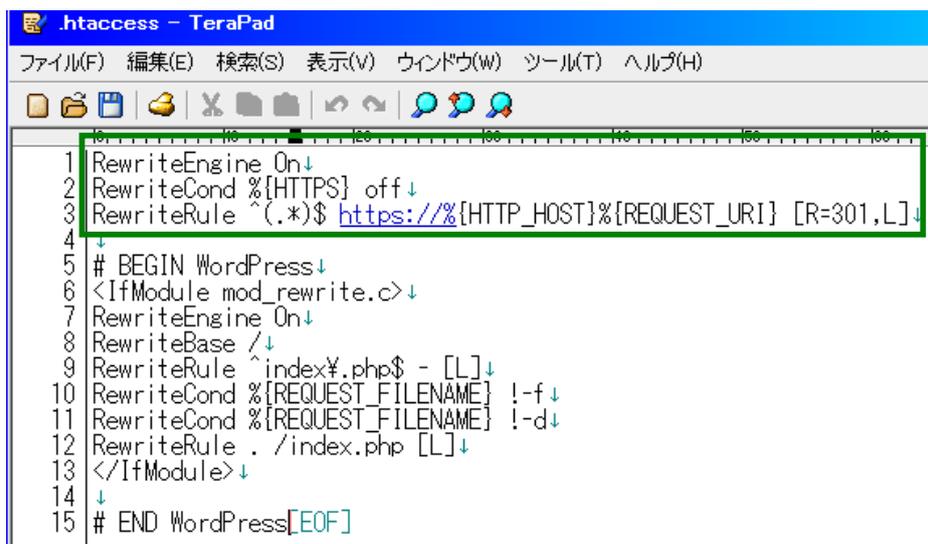
Word Press を運営している場合

手順1 Word Press のルートディレクトリにある「.htaccess」をダウンロードして、テキストエディタを起動させて、ダウンロードした「.htaccess」を開きます。



```
.htaccess - TeraPad
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ツール(T) ヘルプ(H)
1 RewriteEngine On↓
2 RewriteCond %{HTTPS} off↓
3 RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]↓
4
```

手順2 上の緑で囲った部分の文字列を
下のように Word Press の「.htaccess」の上部に
入れるようにします。



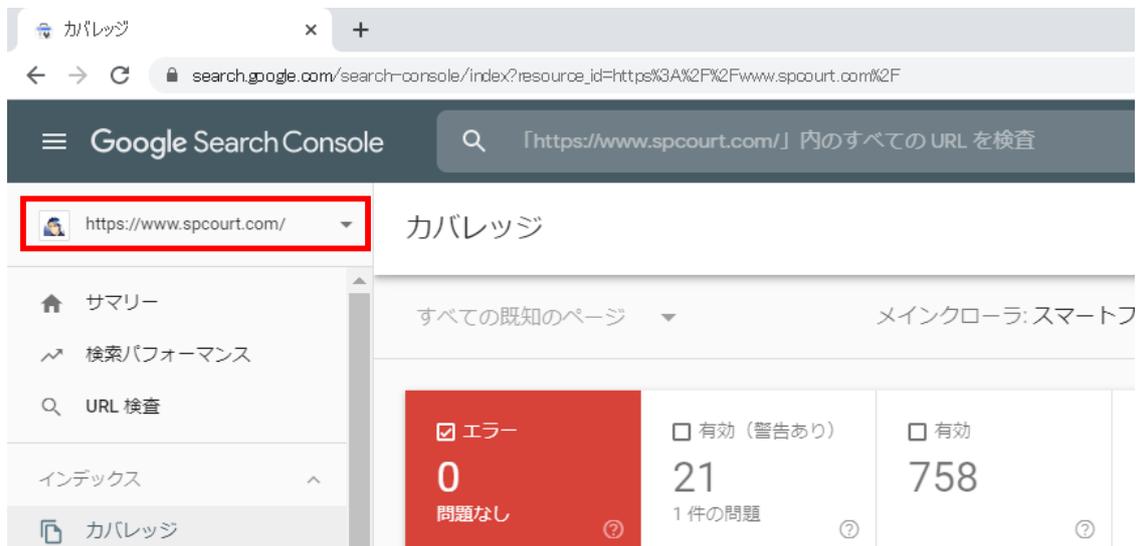
```
.htaccess - TeraPad
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ツール(T) ヘルプ(H)
1 RewriteEngine On↓
2 RewriteCond %{HTTPS} off↓
3 RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]↓
4 ↓
5 # BEGIN WordPress↓
6 <IfModule mod_rewrite.c>↓
7 RewriteEngine On↓
8 RewriteBase /↓
9 RewriteRule ^index%.php$ - [L]↓
10 RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f↓
11 RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d↓
12 RewriteRule . /index.php [L]↓
13 </IfModule>↓
14 ↓
15 # END WordPress[EOF]
```

手順3 作成したファイルを
再び Word Press のルートディレクトリにアップロードし、
既存の「.htaccess」を上書きします。

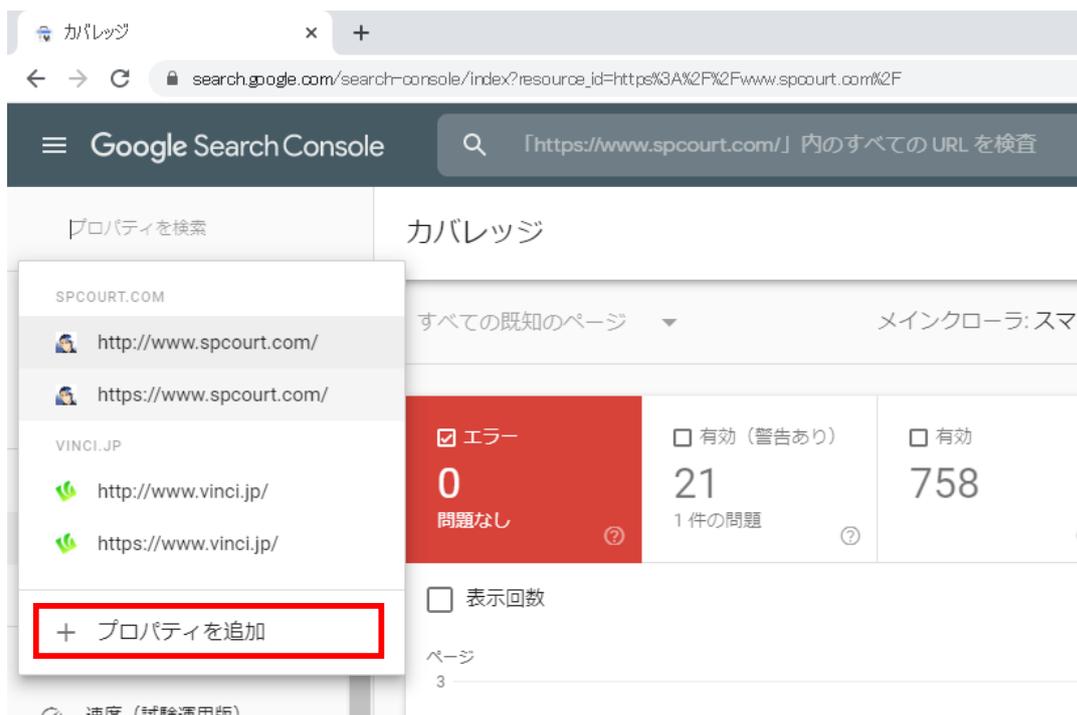
これで 301 リダイレクト設定は完了し、Word Press においても、
http から https へ転送されるようになります。

④Google Search Console に新 URL を追加します。

Google Search Console にログインし、赤く囲ったところをクリックします。



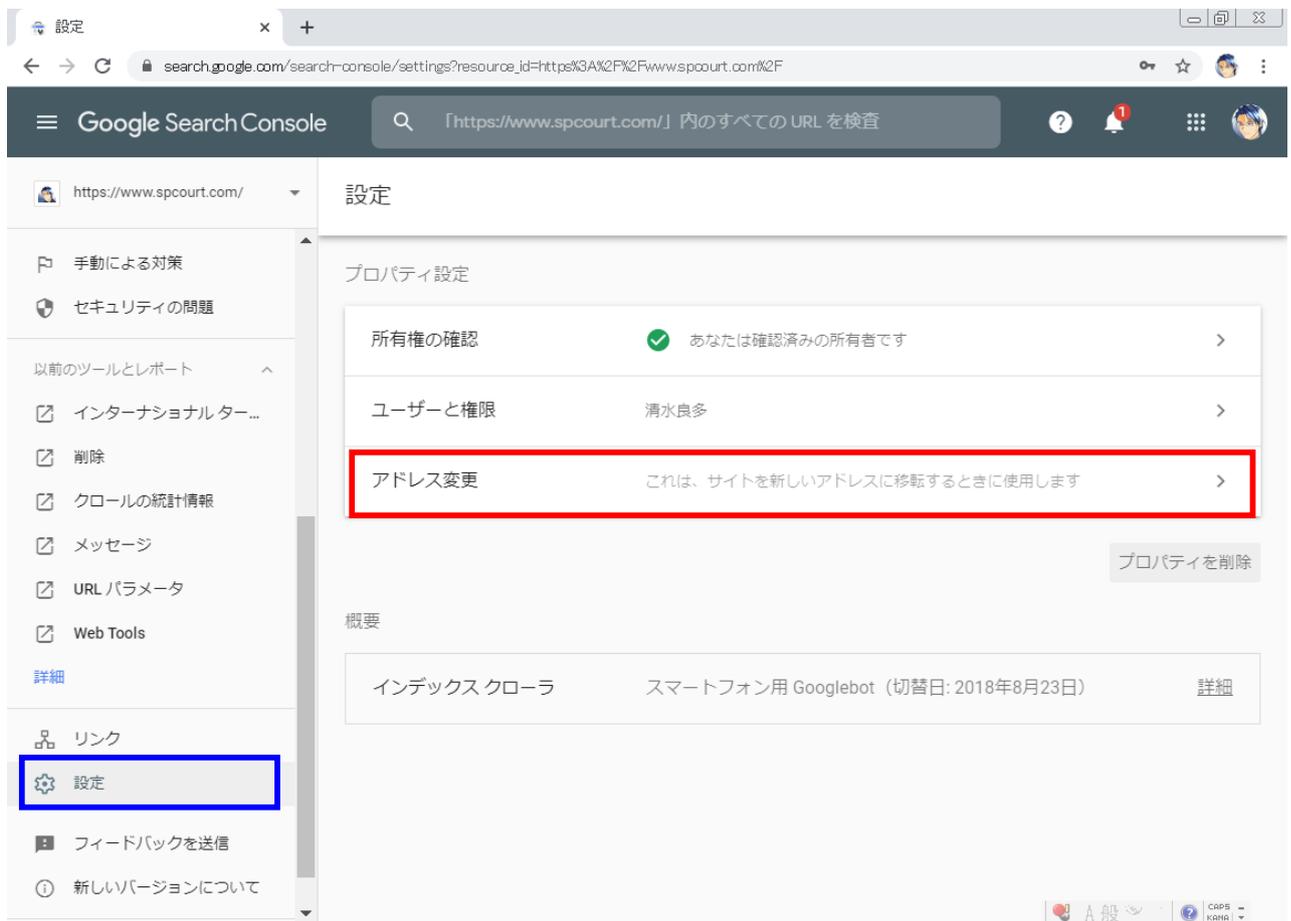
そして、『プロパティを追加』をクリックして、新 URL に関して必要事項を入力すれば、登録することができます。



⑤Google Search Console に登録している
旧サイト(URL)の方については、
アドレス変更のリクエストをグーグルに送ります。

旧サイトを選択し、下の画像の青く囲った『設定』をクリックし、
右画面に設定が表示されたら、
赤く囲った『アドレス変更』をクリックし、
そこで必要な手続きを行なうようにしてください。

なお、これを行なえば、301 リダイレクトの効果を高め、
よりスムーズにサイト移転が進められます。



⑥読者様や訪問者様にサイト移転報告をしたり、
各サイトの旧 URL のリンクを
新 URL のリンクに書き換えていきます。

これについては、書いてある言葉の通り、
サイト移転報告をしたり、
リンクの書き換えを行なっていきますが、
媒体の規模が大きければ大きいほど大変です。

人によっては、1ヶ月～2ヶ月にわたることもあるでしょう。

このことを考えれば、301リダイレクトを使って転送しなければ、
事業の運営に大きな支障が出てしまい、
到底サイトの移転作業は円滑にできませんね。

だから、301リダイレクトを使って転送し、
事業の運営への影響を最小限に抑えることが
大切になってきます。

ドメインの使用期限がある場合、 もしくはドメインやサイトを廃止にしたい場合

本来なら、旧サイトに 301 リダイレクトを永久的に設定した方が望ましいのです。

しかし、ドメインの使用期限がある場合や、旧サイトを完全に廃止したい場合は、301 リダイレクトをやめなければなりません、どの程度の期間 301 リダイレクトをやらなければならないかが問題になってきます。

【目安として】

媒体の規模によって、差が出てきますが、301 リダイレクトをだいたい 2 ヶ月ぐらいはやった方が良いです。

⇒301 リダイレクトにおいて、旧 URL から新 URL へ、グーグルの評価が移行して引き継がれるのにだいたい 2 ヶ月程度かかります。

私が情報商材のレビューサイトの URL を変更した時の話ですが、全てインデックスが新 URL に変わるまで 1 ヶ月かかり、その状態から検索エンジンロボットが巡回して新 URL が評価されるまで、また 1 ヶ月間かかりましたので、これを合わせると、だいたい 2 ヶ月ぐらい必要でした。

そして、ドメインの使用期限がある場合や、旧サイトを完全に廃止する際には、Google Search Console に登録してある旧サイトを忘れずに削除するようにしましょう。

私が運営していた情報商材レビューサイトの場合は、旧サイトのドメインの所有権がサイト移転から半年後ぐらいで切れましたので、そのときに 301 リダイレクトを解除し、Google Search Console から旧サイトを削除するようにしました。

まあ、旧サイトのドメインが利用制限される org.uk ドメインということで、早い段階から使用停止措置が取られるかと思いましたが、ドメイン登録代行会社が交渉をして猶予をもらってくれたおかげもあるかもしれませんが、サイト移転後も、半年ぐらい旧サイトのドメインが存続しました。

私としては、以下のように検索順位上位のままサイト移転ができて良かったです。

■ グーグル・Yahoo 検索順位

- ・ アフィリエイト情報商材暴露 1 位
- ・ アフィリエイト商材 5 位以内
- ・ 稼げる商材 5 位以内
- ・ 稼げる情報商材 5 位以内
- ・ アフィリエイト情報商材検証 5 位以内
- ・ 情報商材検証 10 位以内
- ・ 情報商材暴露 10 位以内
- ・ アフィリエイト情報商材 10 位以内
- ・ 情報商材アフィリエイト 10 位以内
- ・ アフィリエイト情報商材評価 10 位以内
- ・ アフィリエイト商材検証 10 位以内
- ・ アフィリエイト商材評価 10 位以内

301 リダイレクトを利用するワケと留意点

ところで、301 リダイレクトを使うと、旧サイトから新サイトへ評価を受け渡す際に1～2割ぐらい減るので、使わない方がよいという人がいます。

しかし、301 リダイレクトを設定しなければ、旧 URL のインデックスが残り、新 URL はなかなかインデックスされなくなるので、その方がよほどデメリットが大きくなります。

もっとも、サイト移転後に新サイトにしっかりと被リンクが付いていけば、グーグルの評価が高くなりますので、全く問題ありません。

また、SSL化(HTTPS化)をした場合においても、301 リダイレクトの設定を行なう必要があります。

http のページと https(SSL化)のページの両方が表示される状況になりますが、http と https の両方のページが存在すると、検索エンジンにどちらが正規のページであるかどうかを判断してもらえづらくなり、SEO 的によくありません。

そこで、https の方が正規のページであることを判断してもらうために 301 リダイレクトの設定を行ないます。

まあ、確かに他にも転送方法がありますが、
グーグルはあまり推奨していません。

例えば、JavaScript 等を用いた場合は、
グーグル検索エンジンからスパム扱いされる可能性があるので、
やめておくべきですね。

302 リダイレクトの場合は、一時的に転送することを示すため、
検索エンジンはサイト移転したとは判断せずに、
そのまま旧 URL の方をインデックスし続けるため、
新 URL はインデックスされなくなってしまう。

あと、唯一 301 リダイレクトをやらないケースを挙げるとすれば、
旧サイトの方でペナルティを受けているときになります。

301 リダイレクトでは、
良い評価だけではなく、悪い評価(ペナルティ)も
旧サイトから新サイトへ引き継がれてしまいますので
注意が必要です。



発行者 切り開く青空人

2011年3月からネットビジネスを開始して、報酬を積み重ねていき、累計500万円以上稼いでいます。

累計売上

アフィリエイト件数	アフィリエイト報酬	2ティア件数	2ティア報酬	合計販売数	総売上
1,349	¥5,341,844	50	¥12,498	1,399	¥5,354,342

そして現在、ネットビジネスコンサルタントとして活動していて私は以下の媒体を運営しております。

●青空塾ブログ(ネットビジネスで収入を稼ぐ成功方法を暴露)

<https://www.vinci.jp/>

●アフィリエイト情報商材レビューサイト(詐欺商材撲滅活動も)

<https://www.spcourt.com/>

●無料メール講座

<https://www.vinci.jp/netbusinesskouza/freemailcourse/>

■関連事業

青空ライフ(生活・人生の不安や苦しみから解消 激動時代の成功法則)

<https://www.aozoralive.com/>

なお、私の詳しいプロフィールと実績をみたい方は以下のページをご覧くださいませ。

<https://www.spcourt.com/rinkkei/syokai.html>